

企業社会論

谷本 寛治教授

Email: k.tanimoto@waseda.jp

1) 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

企業社会論(Business and Society)における様々な問題、例えば、企業の社会的責任、企業とステイクホルダーとの関係、企業の社会貢献活動、社会的責任投資、ソーシャル・アントレプレナーシップ、ソーシャル・ビジネス、企業とNGO・政府・行政の間でのコラボレーションなどにつき、経営学をベースとして研究していく。

とくに最近では、CSR マネジメント、ステイクホルダー・エンゲージメントや、ソーシャル・イノベーションの創出プロセスに関心を持ち、研究している。

詳しくは、研究室のウェブサイト参照のこと。

・日本語: <https://tanimoto-office.jp/index2.html>

・English: https://tanimoto-office.jp/index2_english.htm

2) 指導方針

大学院は、自立した研究者となるためのトレーニングの場である。

理論的に考え、実証的に分析していく、というオーソドックスな研究スタイルを身に付けていく。たくさん読み、たくさん考え、書く。現場と理論の間を往復し、グローバルに通用する研究者になることを目指す。

3) 学生に対する要望・その他

企業をとりまく環境は常に変化している。問題の背景を理解した上で、理論的にも実務的にもその解決に向けたインプリケーションを示せる力をつけていくことが求められる。

博士課程の学生には、将来グローバルに通用する研究者になるため、常に目標を高く置き、論文を書いていく姿勢を求める。